

## 平成24年度助成決定一覧表

### A. 博物館学芸員等の内外研修に対する助成

応募:12件 決定:10件

番号	氏名	所属機関【都道府県名】	研修施設名	研修テーマ等
		役職名	研修期間	
1	川上 新一	山形県立博物館 【山形県】	国立科学博物館 植物研究部	『粘菌類のフロラ調査および分類学的研究』 山形県産粘菌類の標本や培養株が少なく、フロラが詳らかになっていない。よって、県内採集調査、国立科学博物館の標本調査、およびそれらのDNA分析を行うことにより、山形県内の粘菌フロラを明らかにする。
		嘱託職員	5月1日～h25年3月31日	
2	鏑本 武久	林原自然科学博物館 【岡山県】	群馬県立自然史博物館 国立科学博物館 研究部	『福島県いわき市に分布する石城層から産出した哺乳類化石』 哺乳類化石の研究から、福島県いわき市に分布する石城層の詳しい地質時代を決定し、当時のアジアの陸上哺乳類編年を確立させる。これは、東北日本の古第三紀の石炭層の成立過程の解明にも貢献する。
		研究員	4月17～19日、8月1～3日、h25.1月25～29日	
3	村上 一馬	東北歴史博物館 【宮城県】	八戸市立図書館	『八戸藩における猟師の記録調査—仙台藩の猟師との比較検討から—』 「八戸藩日記」や「八戸藩勘定書日記」を調査し、近世の八戸藩における猟師(マタギ)のありようを研究する。それをもとにして仙台藩や弘前藩の猟師との異同を分析し、東北歴史博物館での展示や教育に還元する。
		主任学芸員	h25年2月15～18日、3月14～17日	
4	柳澤 和明	東北歴史博物館 学芸部 【宮城県】	奈良国立博物館	『宮城県を中心とする内藤政恒瓦資料の研究』 佐々木茂楨氏の撮影内藤政恒カード(34遺跡478枚)の公表にあたり、奈良国立博物館所蔵の内藤政恒瓦コレクションとの比較・検討を行うための助成申請。公表は東北考古学に大きく寄与する。 (A-5福山宗志氏と同テーマ)
		上席主任研究員	12月26～27日、h25.1月17～18日、2月7～8日	
5	福山 宗志	涌谷町教育委員会 教育文化課 生涯学習班 【宮城県】	奈良国立博物館	『宮城県を中心とする内藤政恒瓦資料の研究』 考古学者・内藤政恒の作成した調査カードには、まだ正式に公表されていない貴重な瓦資料が含まれている。これを整理・公表するにあたり、奈良国立博物館に収蔵されている内藤コレクションの内容確認等を行う。 (A-4柳澤和明氏と同テーマ)
		主査	12月26～27日、h25.1月17～18日、2月7～8日	
6	鵜沢美穂子	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館 【茨城県】	Universiti Malaysia Sabah (Institute for Tropical Biology & Conservation)	『世界最大のコケ植物“Dawsonia longifolia”の展示と孢子体の形態形成に関する調査研究』 企画展における展示への活用と形態発生学的研究の材料とするため、マレーシアのキナバル山において、世界最大のコケ植物“Dawsonia longifolia”および熱帯雨林に生育するコケ植物の調査・採集を行う。
		学芸員	10月27日～11月3日	

8	内山十糸子	キッズプラザ大阪 【大阪府】	科学産業都市「子どもの都市」 ドイツ博物館 子どもの王国 他	『チルドレンズミュージアムにおける、子どもたちの五感に訴えるインタラクティブ性の高いハンズオン展示の開発』 欧州のチルドレンズミュージアムのインタラクティブ性の高いハンズオン展示を調査研究し、当館の展示と比較することで、子どもの主体的な学びを促す展示開発に対する視点を探り、今後の展示開発に生かす。
		企画運営グループ	12月20日～h25.1月1日	
9	中村 直人	越谷市立児童館 コスモス 【埼玉県】	アメリカ自然史博物館 アメリカ国立航空宇宙博物館 他	『アメリカの博物館における学校との連携のありかたについて～博物館の展示物、プラネタリウムを生かした学校利用プログラムのありかた～』 展示物、プラネタリウムを生かした学校利用プログラムについて、先進事例を持つ米国博物館を視察し、職員や利用者インタビュー調査を行うことで、より効果的なプログラムの企画・運営に資することを目的とする。
		主任指導主事	11月3日～13日	
10	福井 彰	国立科学博物館 【東京都】	オーストラリア博物館 パワーハウスミュージアム シンガポールサイエンスセンター	『科学系博物館における効果的な広報活動に関する調査研究』 ソーシャルメディア等の新しい広報手段を活用するなどより広範で効率的、効果的な広報活動について調査することで、人々が科学に親しむ機会を創出する窓口となる科学系博物館の広報活動に資することを目的とする。
		事業推進部広報・常設展示課 広報担当 主任	h25.1月21～30日	
12	植村 仁美	国立科学博物館 筑波実験植物園 【茨城県】	スミソニアン生物多様性博物館 ランカスター植物園 他	『中米地域の植物の収集、および植物の生態や博物館における展示手法の調査と活用』 特有の植物相をもつパナマ、コスタリカにて、植物を収集し、当園の植栽植物の充実を図る。植物の生態や博物館における展示手法を調査、学習し、帰国後、植栽展示、常設展や企画展などの改良を行う。
		技術補佐員	h25年1月12日～26日	

B. 博物館に関する国際交流に対する助成

応募:2件 決定:2件

番号	博物館名	事業名等	実施場所
			実施時期
1	林原自然科学博物館 【岡山県】	『林原自然科学博物館ーモンゴル古生物学センター古生物学共同調査20周年記念講演会』 林原自然科学博物館とモンゴル古生物学センターの古生物学共同調査の20周年記念講演会を実施する。モンゴルと当館の研究者が、20年間の共同調査の意義、成果を広く一般に伝え、今後の古生物学調査を展望する。	大阪市立自然史博物館
	館長 石垣 忍		11月23日
2	全国科学博物館協議会 【東京都】	『平成24年度全国科学博物館協議会海外科学系博物館視察研修』 研修事業の一つとして毎年実施しているもので、加盟館園から参加者を募って視察団を組織し、海外の科学系博物館を視察調査、意見交換することにより、加盟館園の職員等の資質向上を図ることを目的としている。	ウィーン自然史博物館 他欧州の代表的な科学系博物館
	理事長 近藤 信司		H25年1月14日～25日

### C. 青少年の社会教育活動に対する助成

応募:29件 決定:11件

分類 番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場 所
	代表者名		期 間
1	NPO法人 子ども大学かわごえ 【埼玉県】	『子ども大学かわごえ社会教育事業』 小学4～6年の子どもの知性は急速に発達する。その知的好奇心に応じて大学教授が大学の教室で大学レベルの課題をやさしく教え、子ども達の知的世界を広げ、学ぶ楽しさを教えるのが子ども大学かわごえである。	東洋大学 他2大学
	理事長 酒井 一郎		4月～H25年3月
3	八戸海洋少年団 【青森県】	『第21回日本海洋少年団東北地区大会』 東北大会は、東北地区の各海洋少年団員が一堂に会し、日頃培った活動の成果を発揮し、団員相互の友情を深め、合わせて八戸市における青少年健全育成の推進と、海洋少年団活動の発展に寄与するものとする。	青森県立種差少年自然の家(八戸市)
	団長 熊谷 雄一		7月27日～29日
7	国立大学法人 山形大学大学院 理工学研究科 【山形県】	『モバイルキッズケミラボ2012』 理科教育の振興と豊かな人格形成を図るため、山形大学大学院理工学研究科教職員の有志と米沢市教育委員会の連携のもと、小中学生を対象とした定期的理科実験教室や各種イベントでの実験教室などを開催する。	米沢市理科研修センター 他
	教授 尾形 健明		5月～H25年1月
8	岩手県ユネスコ協会連盟 【岩手県】	『平成24年度 岩手県国際交流活動研修会～第9回岩手県高校ユネスコ研究大会～』 本事業は、県内高校生が、交流を図りながら平和の理念(ユネスコ精神)を学ぶとともに、地球社会の今日的課題を学び、地球市民として「共生」のために何ができるかを考え、話し合い、その行動力を養うものである。	国立岩手山青少年交流の家
	会長 安藤 厚		H25年2月1～2日
12	特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場 【宮城県】	『～震災復興支援事業～ ファミリー和太鼓ワークショップ&成果発表会』 大震災の影響を受け、子どもたちは様々な心のストレスを抱えています。傷ついた子どもと大人が同じプログラムで思いっきり和太鼓に向き合い、その成果を発表し達成感や一体感を共有し自己肯定感を高める。	仙台市立榴岡小・榴岡公園 他
	代表理事 齋藤 純子		10月13、21日、11月～12月
13	学校法人 芝浦工業大学 生涯学習センター 【東京都】	『少年少女ロボットセミナー in 広島 2012』 小中学生を対象にロボットづくりを通して、モノづくりの楽しさ、ロボットの構造などについて体験学習をさせ、日本の科学技術を担う人材育成に寄与することを目的として「少年少女ロボットセミナー」を実施している。	広島市立 広島工業高等学校
	生涯学習センター長 志村 秀明		11月23日～24日
14	日本ボーイスカウト岩手連盟 【岩手県】	『子供の広場 (子供たちに野外体験の場を提供しよう)』 我々は青少年を対象にした活動団体で、地域に密着しているボーイスカウト活動のよさを活用して、小中学生を対象にスカウトならではの野外での遊び体験を提供(特に沿岸被災地)しようと計画している。	釜石市・大槌町 他
	連盟長 南部 利文		5月～H25年1月8回

20	特定非営利活動法人 Class for Everyone 【千葉県】	『フィリピンで、平等で質の高いオンライン教育機会を創出する』 途上国のスラム街に住む貧困層の人々を対象に、インターネット環境の整備による情報格差の是正を目指すと共に、持続的で質の高い教育機会をオンラインから提供していくことを目的とする。	フィリピン タギッグ市・ミンドロ 島 他
	理事長 高濱 宏至		5月5日、9月4日
23	NPO法人 沖縄NGOセンター 【沖縄県】	『ひらけ！アジアのトビラ ～子どもとアジア、アートの出会い～』 青少年に対し「アジア」、「(現代)アート」の出会いの場づくりを行う。沖縄とアジアの伝統・文化の共通点に触れ、アートを通じてアジアに生きる一人として持続可能な社会作りの時間とする。	沖縄県立博物美術 館・離島の学校
	代表理事 新垣 誠		11月27日～ H25年1月6日
24	ピコせんサポーター 【宮城県】	『こどもがつくるまち「Piccoliせんだい」 ～Miyagino～』 参加した子どもたちは、自分たちの力で街を運営する。街作り体験を通して労働の喜び、お金の大切さなど、社会のしくみを楽しみながら学ぶ。特別学級の枠をはずし、人と人との繋がりを大切にできる心が育つ街作り体験。	宮城野区文化セン ター 他
	代表 斎藤 まゆみ		5月1日～3月31日
26	特定非営利活動法人 盛岡YMCA 【岩手県】	『青年ボランティア指導者講習会』 ①野外教育活動の指導者の養成 ②被災地復興支援ボランティアの養成 社会に出る前の青年、高校生たちに他者と関わることによる気づきと成長を促す。座学、実技(キャンプ、ワークキャンプ)、ワークショップ	盛岡YMCA・盛岡 YMCA宮古ボラン ティアセンター 他
	理事長 石渡 隆司		6月～12月

D. 文化及び芸術等の振興に対する助成

応募:19件 決定:7件

分類 番号	団体名	事業名等	場 所 期 間
1	社団法人 宮城県芸術協会 【宮城県】	『第49回宮城県芸術祭』 本芸術祭は、宮城県、宮城県教育委員会、仙台市、仙台市教育委員会、(財)宮城県文化振興財団、河北新報社と宮城県芸術協会の七団体共催で、宮城県の芸術文化の振興発展に寄与することを目的とし開催する。	せんだいメディア テーク 他
	理事長 小山 喜三郎		9月～11月
2	N-ovalビル音楽サロン 【宮城県】	『N-ovalビル音楽サロン monthly concert -Monday afternoon-』 クラシック音楽の啓蒙、情操教育の一環として、仙台の一般市民に生きた音を味わって頂くためと、地元若手演奏家の活動の場を提供することとともに育成を兼ねクラシック音楽コンサートを定期的で開催する。	N-ovalビル一階 オープンスペース
	東北大学名誉教授 野口正一		毎月2回 月曜日
3	落合直文顕彰会 【宮城県】	『第26回 落合直文全国短歌大会』 郷土の生んだ先人落合直文の事績を顕彰し、地域の文化の振興を図るために落合直文全国短歌大会を開催し、文化の進展に寄与する。	気仙沼市松岩公民館
	会長 西城 重一		10月6日
8	財団法人 上山城管理公社 【山形県】	『上山城開館30周年記念事業～上山を治めた三大名(土岐家、金森家、松平家)の紹介を通じた文化向上と地域交流の取り組み～』 江戸期に上山を統治した大名について、当地での業績に加え、移封に伴う他地域とのつながりを紹介し、生涯学習の場を提供すると共に、将来的には、関連する各地と歴史・文化を通じた交流を目指す取り組み。	上山城特別展示室
	理事長 鎌上 宏		10月27日～11月25日
9	東北大学学術資源研究公開センター植物園 【宮城県】	『平成24年度東北大学植物園公開市民講座～Schola Botanica 2012～』 学内外の研究者を招き、一般向けの植物学およびその関連分野に関する講座を開講し、植物学の普及および地域の社会教育事業の一翼を担う。自然史講座「熱帯の森を訪ねて」を全6回、植物画講座2回を企画している。	植物園講義室
	植物園長 中静 透		5月～10月 8回
13	粹々まちなかプロジェクト 【宮城県】	『うれし楽し蔵deひなまつり ～うれし楽しいいな街道めぐり～』 歴史的建造物に新たな風と光をあて、地域資源を掘り起こし、伝統文化とモダンを融合し、素敵で誇りの持てるまちづくりに貢献。ふれ合いと交流の笑顔あふれる和やかで楽しい「ひな街道めぐり文化」の構築を目的とする。	仙台市内、宮城県内
	代表 齊藤 衣代		h25年2月中旬～3月中旬、メイン3月1～5日
17	仙台オペラ協会 【宮城県】	『2012仙台オペラ協会第37回公演 「ドン・ジョヴァンニ」』 W. A. モーツァルトのオペラ三大作品のひとつ「ドン・ジョヴァンニ」を公演し、手ごろな料金で多くの人々に楽しんで頂くことによりオペラの普及と地域芸術文化の振興に寄与しようとするもの。	東京エレクトロン ホール宮城
	会長 藤崎 三郎助		9月8日～9日